

事後評価報告書
(日本-中国研究交流)

1. 研究課題名： 水田から発生する温室効果ガスの削減技術の開発とその削減ポテンシャルの評価

2. 研究代表者名：

日本側： 農業環境技術研究所 研究コーディネータ 八木 一行

相手側： Institute of Soil Science, Chinese Academy of Science, Professor Xu Hua

3. 総合評価： A

4. 事後評価結果

(1) 研究成果の評価について

世界最高水準の時空間解像度を持つ水稲作付けマップを作成し、衛星観測との比較から、四川省では水田が主要なメタン排出源であることを同定するなどの成果を挙げ、相手側研究チームとの共著論文を含む論文9編が国際誌に公表されていることは高く評価できる。

一方で、相手側研究チームと連名の学会発表がないことは残念であった。今後、研究者コミュニティへの積極的な研究紹介が行われることが期待される。また、水田からのメタン排出に関する日本と中国との比較分析に関する研究についても、今後の進展が望まれる。

(2) 交流成果の評価について

相手側研究チームとは長年にわたり共同研究の実績があり、安定した交流が行われていると考えられる。当初の計画どおり、双方の研究者が参加するワークショップが開催されており、実質的な交流が行われたことは高く評価される。

一方で、当初の計画にあった、モデル利用方法の研修のための中国側研究者の招聘が実現されなかったことが残念であり、今後、日本側研究チーム及び相手側研究チームのワークショップやセミナーが活発に行われることが期待される。

(3) その他

長年にわたる共同研究の実績に基づき、困難な問題が生じやすい中国との科学技術協力事業を成功裏に実施した経験を、今後の協力事業推進に積極的に生かしてほしい。